

点検の不動産利活用

一般財団法人 日本不動産研究所

第26回

年間40万人弱が訪れる観光商店街へ生まれ変わった。一方、豊後高田市は「田舎暮らしの本（2020年2月号）」の住みたい田舎ランキング（10万人未満の市町村）の総合部門で2年連続第1位、子育て部門第1位、シニア部門第2位に選ばれた。これは、本気の定住促進策への取り組みの成果である。まず、子育て支援および教育環境の整備として、高校生までの子供の医療費、小・中学校の給食費、保育園の保育料・幼稚園の授業料および給食費

豊後高田市は、近年商店街を観光地化して全国的にも知られるようになった「昭和の町」がある人口2万3000人程度の海と山に囲まれた豊かな自然と温暖な気候の小さな地方都市である。平安時代には宇佐・八幡神の影響を受けつつ険しい山地で修行を行う山岳宗教とが融合して国宝・富貴寺大堂をはじめとする「六郷満山文化」が開花した。

その後、内海航路の拠点として繁栄していたが、昭和時代になり全国の地方都市と同様、若者の都市部への人口流出や高齢化により典型的な過

子育て支援、団地の造成・販売に注力する 大分県豊後高田市

本気の定住促進策が成果生む

「昭和の町」を01（平成13）年にスタートさせた。今では無料化、保育園の待機児童ゼロ等がある。

が毎年続いている（表参照）。
将来への取り組みも

また移住支援施策を活用して転入した移住者は、20（令和2）年度版市勢要覧によれば年間3000人程度いる。将来に向けた更なる定住促進策として、土地代無料の住宅団地を2地区で造成し、申請者もしくは配偶者が市外に居住し、住民登録をして定住しようとする者を対象として、19（令和元）年10月より販売受付を開始した。20（令和2）年9月末時点で購入予約は17



① 国宝・富貴寺大堂

② 昭和30年代をテーマとした「昭和の町」



③ 完成した定住促進住宅団地の街並み



【豊後高田市の社会動態の推移】

年度	社会動態		
	転入	転出	増減
平成25年度	810	810	0
平成26年度	816	733	83
平成27年度	861	808	53
平成28年度	843	780	63
平成29年度	836	787	49
平成30年度	883	825	58
令和元年度	955	829	126
令和2年9月	392	362	30

資料：住民基本台帳（単位：人）

（大分支所、不動産鑑定士・上治昭人）